

ふるさと奥尻通信

平成25年10月31日
奥尻町教育委員会発行
事務局:01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

巻頭語

秋の夜長に何するべ？酒飲んで夜更かすするよりかは、読書でもして目がしょぼしょぼしてきたら、バタンと寝るのがいいんでないかい？んだ、そうすべえ。

特集 奥尻の釣り ー磯釣り編ー

今月号は「月刊奥尻の釣り」拡大版です。10月下旬より秋・冬の磯釣りシーズンがスタートしました。日に日に寒さが厳しくなるにつれて、冬魚が磯や港内に入ってきます。寒さと手足の痺れに耐えながら、大物釣りを目指して頑張る季節がやって参りました！昨年、とある島の学芸員は、12月下旬の松江港で、降雪の中ホッケ釣りに没頭するあまり、足の指が凍傷寸前になり、以降、健康を害したとか。無理は禁物です。

奥尻の磯釣りで釣れる代表的な魚種は、6種類あります。ホッケ、アブラコ、カジカ、ソイ、ハチガラ、カレイ。これに、ガヤ、海タナゴがまれに掛かり、ルアー釣りでは、ヒラメ、フクラギ、カンパチ、メバル、サクラマスなどが掛かります。外道として、ギンポ(ガンジ)、フグなどが釣れ、すぐに捨てられます。

魚によって習性や生息地が違いますので、港で釣れる魚もあれば、岩場の磯で釣れる魚もあります。そのため、釣りたい獲物を定めてから、ポイント選びをし、その日の風向きと波の高さやうねりの状況を見て、1~2地点を選定します。同じ場所でも、より釣れる地点があります。



カレイ(上)とホッケ(下) 5月 宮津漁港



アブラコ(アイナメ) 5月 宮津漁港



カジカ 5月



ハチガラ(ムラソイ) 7月 平岩



クロゾイ 5月 西海岸のヘビ岩



サクラマス 3月 無縁島海岸

餌のお話です。針に餌を付けて海中に投げる釣りを”ぶっこみ”と呼びます。ルアー釣りとは違い、一度投げるとさほど竿を動かしません。いわば受け身の釣り方です。のんびり気長に待ちますが、釣れないと”ボウズ”と言って、非常につまらない思いをします。

エサは魚の種類によって変えます。細長いミミズみたいな生き餌である「青イソメ」がもっともポピュラーで、口の小さいカレイ、食欲旺盛なホッケ、どう猛なアブラコ、港に住むソイなどを狙います。

北の釣り場での必需品が「ゴロ」です。これはイカの内臓で、イカをさばいた時に、丸ごと引き出す部分です。これをゲソと離して使います。ゴロは強烈な臭気があるので、撒き餌代わりになり、魚が寄ってきます。軟らかいので、大体の魚は丸呑みするのです。面白いことにゴロを好む魚と、そうではない魚に別れており、狙っていない魚が突然釣れたりするので驚かされます。ゴロでは、カジカ、ハチガラ、クロガシラカレイが良く釣れます。

魚影が薄い場所では、大量の撒き餌をして魚を寄せ集め、エビ、サーモン、マグロといった高級食材を釣り餌にして釣りをする人もいます(島ではその必要はない)。釣り番組でよく釣れるのは、この大量の撒き餌のお陰です。

先日、名古屋からはるばる釣りに来たお客さんがいましたが、向こうではキス釣りがメインなようで、カジカ釣りに興味津々でした。また、無縁島海岸でアブラコをたくさん釣ったそうで、満足顔で帰っていきました。やはり、本州においてアブラコは釣って喜ばれる魚のようです。

昭和42年(1967)6月23日、待望のフェリー「奥尻丸」が就航しました。これまで、戦後では「三島丸」(150トン)、「第貳三島丸」(133トン)、「第参三島丸」、「第二おくしり丸」(76トン)などが江差—奥尻—青苗間を結んでいました。他に青苗—江差間では、「利礼丸」、「利尻丸」、「礼文丸」が昭和50年代半ばまで運行されていました。

昭和40年前後までは、江差—奥尻間の片道で4時間30分もかかっていたといいます。特に三島丸の時代は小型だったので普段から相当揺れたそうで、乗客は船倉に乗り込んだために、油と塗料の匂いで気分が悪くなったという思い出話がよく聞かれます。

フェリーを新造した理由は、道南海運運行の「おくしり丸」(昭和35年建造、94人乗り、11ノット、135トン)が車両輸送に対応できず、需要に応じきれなくなったためでした。昭和41年、特定船舶整備公団第1回目の公募に対し、道離島航路整備会社(小樽)は、道南海運の「おくしり丸」の代船建造を申請し、翌年6月の就航が実現したのです。就航当日は奥尻港に500人の観衆が集まり、希望のまなざしをもって処女航海を見送りました。



出航に沸く町民



初代の三島丸



おくしり丸



船内の売店

月刊 奥尻のつり 10月号

港の厄介者の話。水温が下がらず、10月下旬でもフグが港内をうようよしています。彼らは食欲旺盛で、エサに群がって、あっという間にキレイに食べていきます。残っているのは針だけ。さらには、テグスを噛んでブツリと切ってしまうたり…。こうなるともうお手上げです。さっさとあきらめて帰ります。釣れるのはクサフグ(草河豚)で、道南から沖縄までの沿岸にひろく生息します。ウロコのない魚ですので、ぬるりとしてすべります。体長は10~15cmほど。食用です。フグと言えば、テトロドキシンという毒を持っており、特に肝臓、腸、卵巣が強毒です。摂取すると体が麻痺しまして、呼吸器系に障害がでます。ただし、体内で分解されるので、麻痺の直後から人工呼吸を適切に施せば、次第に無毒化されます。

昭和奥尻生活詩 10回

奥尻郡釣石尋常高等小学校一年生「詩集・海に生きる」より

ど眠おどん今年お夜昼泣指でもさ一
んくらんども年らだだきさや時
んて痛どもんす眠ださ先縄め間
んもくくんすくくうのジをるに
ささてつけそたいだよキ手に
やめれそまらうがくばな位
一、二、四

縄さやめ
面白いやめ
さ一時間
でや縄を
もやるに
指の先ジ
でも縄を
さやるに
一時間
面白いや
縄さやめ

高橋チセ

でざだ生でにしマ員イシル
しとつ徒しなまツガンま高今
よいた達たくし町はし生年
うよにの、た、民一たがも
。とうはで風。毛セ避。二函
きで、呂水布ン難今〇館
のす苦元もや一夕所回〇
備。し気な食枚！体の名ら
えこいなし糧で体験研余ラ
なれのり生十魚館。の来サ
るい の活分寝に全メ島！

函館ラ・サール来島



奥尻オリジナル冷蔵庫

開今なメにちトて扉室民しれ
し後ま。黒よしいにに館てて先
まはら金でつたま鍋あでもい日
す。稲”色鍋ともす釣つあたら
。穂マの釣派の。岩たつい昔
のブ朝岩手の購が代たまの冷
展い日とでよ入デ物頃した蔵
示”も数すう後ザでにた蔵議
室で昇匹がでにイ、。庫會
にすつの、すペンな教元寄置
てねて力赤。イさん育々寄置
公！、モ地 ンれと長公贈が

マアい冷蔵庫！

10月も相変わらず忙しい毎日
でした。休みに勇んで釣りに
行っても、フグとたわむれて終
了。つまりませんね。下旬には
島の紅葉も見えてきて、秋で
す。この頃の秋は駆け足なの
で、あっという間に冬が来るよ
うな感覚です。今年の雪は多い
のかな？この2年大雪だから心
配。さあ、食欲の秋です！島の
米を腹一杯食って、バリバリ働
きましょう！（満腹しんた）。

新米之記録（編集後記）

しが方はは年が最評に六終研
て楽法、とあ終だ盛月了修十
いしも空花同りのつりがしセ月
きめ考き壇数まにた返低まン末
たるえ地整でし七こし調しタ日
いすなの備した一と、でた―で
でペがグをた。一も勾し。の稲
す！らラ継。奇人あ玉た今定穂
ス、ン続来しのつ体が年期ふ
を皆ドし年く入て験、は開れ
構さ利て度も館かが夏五館あ
築ん用行 去者、好期、をい

稲穂資料室今期終了



奥尻丸出航 昭和46年